

第1部

☆講演 「核のない平和な世界に

～日本が果たすことのできる主導的役割～

～ 講師 スティーブン リーパー (公益財団法人 広島平和文化センター理事長) ～

「日本こそが、核のない平和な世界を実現する鍵を握っている。広島・長崎の被爆体験を持つ日本には、その責任があり、主導的な役割がはたせる」と訴えるリーパーさん。長年に亘って、日本と米国の二つの国の橋渡しを続け、核廃絶のうねりを世界に広げようとしています。昨今、核不拡散条約 (NPT 条約) に違反して、イラン・北朝鮮の核兵器開発で核の拡散が世界的に注目されているなか、核兵器の脅威、核を巡る世界の状況を判りやすく話してもらい、核廃絶のために、世界諸国が何をすべきか、私たちに何が出来、何をすべきか語って戴きます。あわせて、最初の原爆を経験した広島から、核廃絶を世界に発信する活動に従事されているリーパーさんのご苦労・ご経験もお話していただきます。

第2部

☆ドキュメンタリー映画 「はだしのゲンが見たヒロシマ」

出演：中沢啓治 聞き手：渡部朋子

～ 監督 石田 優子 ～

漫画家・中沢啓治が自身の生い立ち、広島での被爆体験から『はだしのゲン』を描くまでの半生を語る。被爆者差別もあり「原爆」から逃げていたが、母の死をきっかけに「自分にできることは何なのか」必死に考え続け、原爆をテーマにした漫画を描き上げた。その後少年ジャンプの編集者との出会いから『はだしのゲン』が生まれる。文章だと読みづらい子にも、漫画なら素直に入っていく。中沢氏は「子どもたちに、素直に戦争反対の気持ちが根付いていってくれたら作者冥利につきます」と語る。広島市内の思い出の土地を辿りながら証言、貴重な原画とともに決して忘れてはならない戦争と原爆の姿を見つめるドキュメント映画。

☆講師紹介☆

スティーブン リーパー 〈Steven Leeper〉

1947年生、米国イリノイ州出身 (ウェストジョージア大学臨床心理学修士課程終了)。被爆体験証言通訳や広島平和記念資料館の翻訳に携わると共に、2002年より平和市長会議米国代表、2003年より(財)広島平和文化センター専門委員を経て、2007年より(財)広島平和文化センター理事長として、世界153カ国・地域、5221都市が加盟する平和市長会議(2012年4月1日現在)の活動や原爆展、国際交流・協力事業を指揮する。



杉並区立勤労福祉会館

セミナー会場は 1階ホールです。
JR西荻窪駅北口より徒歩15分です。
バスも出ています。荻窪駅北口(0番・1番乗り場)、西荻窪駅北口(井荻駅行き又は荻窪駅行き)、西武新宿線井荻駅(西荻窪駅行き)から桃井四丁目下車すぐです。当日、混雑が予想されますので、お早めにご来場ください。

〒167-0034 杉並区桃井4-3-2
Tel 03-3301-0811

(駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。)